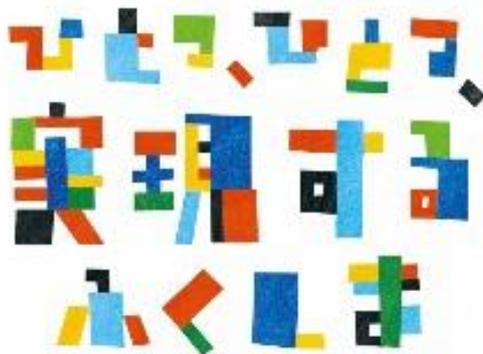


へき地の医療機関への看護師等  
の派遣に係る事前研修  
研修資料（3）

「会津・南会津医療圏」  
（第8次福島県医療計画 抜粋）



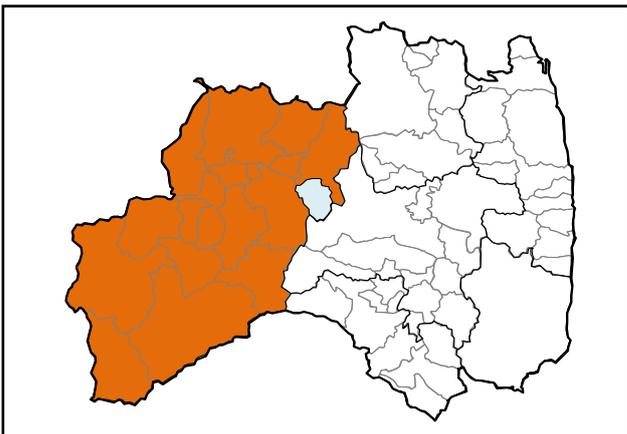
令和6年6月

福島県

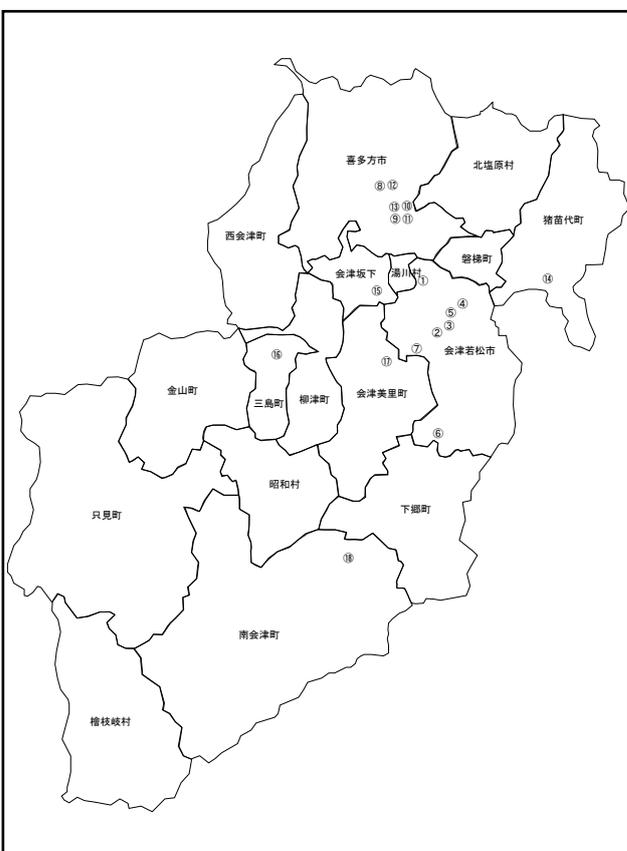
## 第4節 会津・南会津医療圏

### 圏域の現状

【医療圏の位置】



【圏域内の病院】



【地勢と医療分野の現況】

当圏域は県の西部に位置し、山形県、新潟県、群馬県、栃木県の4県と接する地域で、磐梯山、飯豊連峰などの山々や会津盆地のほか、猪苗代湖を水源とする日橋川、栃木県境を源流とする阿賀川、尾瀬を水源とする只見川水系が北流して合流し、新潟県を経て日本海に注いでいます。

交通網では、JR磐越西線や只見線、第3セクター会津鉄道・会津線や野岩鉄道・会津鬼怒川線のほか、磐越自動車道や会津縦貫北道路に加え、会津縦貫南道路の整備が進められており、広域的な観光交流と物流効率化による地域産業の活性化が期待されています。

また、博士トンネルの開通(令和5(2023)年9月10日)により冬季救急搬送時間の短縮が見込まれています。

令和5(2023)年9月30日現在

市町村	番号	施設名	区分
会津若松市	①	公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター 附属病院	●
	②	竹田総合病院	●□■
	③	公益財団法人 穴澤病院	
	④	つるが松窪病院	
	⑤	会津中央病院	○●▲
	⑥	芦ノ牧温泉病院	
	⑦	医療法人明精会 会津西病院	

- 救命救急センター
- 救急告示病院
- 地域医療支援病院
- がん診療連携拠点病院
- △へき地医療拠点病院
- ▲災害拠点病院

第4節 会津・南会津医療圏

市町村	番号	施設名	区分	市町村	番号	施設名	区分
喜多方市	⑧	医療法人昨雲会 飯塚病院		猪苗代町	⑭	猪苗代町立猪苗代病院	
	⑨	医療法人 佐原病院		会津坂下町	⑮	福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院	●
	⑩	医療法人社団日新会 入澤病院		三島町	⑯	福島県立宮下病院	△
	⑪	鳴瀬病院		会津美里町	⑰	福島県厚生農業協同組合連合会 高田厚生病院	●
	⑫	医療法人昨雲会 飯塚病院附属 有隣病院	●	南会津町	⑱	福島県立南会津病院	● △▲
	⑬	医療法人社団 小野病院					

【圏域の基礎データ】

構成市町村	会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町	医療提供施設 (人口10万対)	病院	18	(7.3)	[6.9]	
管轄保健所	福島県会津保健所、福島県南会津保健所		診療所	207	(83.5)	[77.6]	
面積	5,420.31km <sup>2</sup>		歯科診療所	107	(43.2)	[46.6]	
人口(圏域計)	243,015人 [1,766,912人]		薬局	120	(47.6)	[49.3]	
人口動態	0～14歳	25,111人 (10.4%) [189,515人 (10.9%)]	開設許可病床数	一般病床	2,336床	(942.7)	[884.5]
	15～64歳	124,513人 (51.8%) [965,743人 (55.7%)]		療養病床	504床	(203.4)	[168.7]
	65歳～	90,877人 (37.8%) [577,720人 (33.3%)]		精神病床	934床	(376.9)	[342.6]
	(再掲)65～74歳	41,702人 (17.3%) [278,451人 (16.1%)]		感染症病床	8床	(3.2)	[1.8]
	(再掲)75歳～	49,175人 (20.4%) [299,269人 (17.3%)]		結核病床	14床	(5.6)	[3.7]
人口密度	44.8人/km <sup>2</sup> [128.2人/km <sup>2</sup> ]	医療従事者 (人口10万対)	医師	518人	(202.0)	[215.9]	
世帯数	99,636世帯 [749,918世帯]		歯科医師	173人	(67.5)	[76.6]	
1世帯あたり人口	2.44人 [2.36人]		薬剤師	446人	(173.9)	[206.9]	
人口動態	出生率(人口千対)		(5.0)	[5.4]	看護師	2,844人	(1,109.2)
	死亡率(人口千対)	(18.6)	[15.3]	准看護師	1,112人	(433.7)	[340.9]
	乳児死亡率(出生千対)	(2.4)	[2.5]	入院自足率	一般病床	91.9%	[100.0%]
	死産率(出産千対)	(21.3)	[20.0]		療養病床	100.0%	[100.0%]
人口動態	受療動向	病床利用率	一般病床	71.9%	[69.6%]		
			療養病床	90.9%	[81.9%]		
		平均在院日数	一般病床	17.5日	[17.2日]		
			療養病床	174.0日	[135.8日]		

※[ ]内は福島県

※資料は以下のとおり

- 面積…「全国都道府市区町村別面積調(令和5年4月1日)(国土交通省国土地理院)」
- 人口、世帯数及び1世帯あたり人口…「福島県現住人口調査結果(令和5年10月1日現在、圏域計は年齢不詳含む)」
- 人口動態…「令和4年福島県人口動態統計(確定数)の概況」、「福島県現住人口調査結果(令和4年10月1日現在)」
- 医療提供施設…「令和4年医療施設(動態)調査(厚生労働省)」、「令和4年版福島県業務行政概要(令和3年度)」、「福島県現住人口調査結果(令和4年10月1日現在、令和3年10月1日現在)」
- 医療従事者…「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)」、「福島県看護職員就業届出状況(令和2年12月31日現在)」、「福島県現住人口調査結果(令和2年10月1日現在)」
- 受療動向…「平成29年患者調査(厚生労働省)」、「令和元年病院報告(年間)(厚生労働省)」

圏域における重点的な取組

1 連携した医療提供体制の強化継続

(1)現状と課題

- 会津・南会津地域においては、二つの民間病院が中核となり、公的病院、県立病院、その他民間病院がそれぞれの役割を担い、診療所等とも連携して医療の提供を行っています。また、三つの広域消防とも協働し、迅速な救急搬送が行われています。さらに、四つの郡市医師会をはじめ関係団体との協力関係も構築されています。
- 一方、地域医療構想の検討の際に、回復期病床の不足等が指摘されており、医師働き方改革や医療従事者の不足等との課題と合わせて、地域全体での議論を通して解決を図っていく必要があります。

図表 12-4-1 救急搬送困難件数・率

(重症以上の傷病者搬送において、医療機関に4回以上受入照会を行った件数)

区域	搬送件数	困難件数	困難件数割合
県北	2,539	126	5.0%
県中	2,479	143	5.8%
県南	656	28	4.3%
会津	1,539	1	0.1%
南会津	201	0	0.0%
相双	877	45	5.1%
いわき	2,156	261	12.1%

資料：令和3年度の救急搬送データ(各消防本部から提供)を基に集計

図表 12-4-2 病床区分毎の過不足

(令和7(2025)年の必要病床数と現在の病床数の比較)

区域	R7年の必要病床数					現在の病床数(R4年7月1日現在)						R7年必要病床数との差				
	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
会津・南会津	2,459	256	849	846	508	2,821 (2,771)	108	1,867	266	530	50	312	▲148	1,018	▲580	22

※ ( )内の数値は、休棟・無回答を除いた病床数での合計  
資料：福島県「地域医療構想」、「病床機能報告(令和4年度)」

図表 12-4-3 主な病院機能の分担

地域医療支援病院	竹田総合病院
第三次救急医療機関	会津中央病院
第二種感染症指定医療機関	公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター附属病院

(2)目標

安全で良質な医療が提供されており、より効率的な地域医療体制が構築されていることにより、医療従事者等の負担も抑えられ、住民が安心して必要な医療を受けられる地域を目指します。

【数値目標】

- ① 救急搬送困難件数・率は、現状維持を目指します。
- ② 地域内の病床区分毎の過不足については、特に回復期病床の増加を目指します。

(3)具体的な取組

- 救急医療対策協議会の開催等を通して、救急医療の現状を地域で共有し現状の維持及び強化に努めます。
- 地域医療構想調整会議等での議論をはじめ、関係者間で課題を共有し解決に繋がります。
- 直面する課題に対して、医師会等と連携し、適時迅速に研修会等を開催し情報共有を図り、一丸となって取り組みます。

2 地域包括ケアシステムの実現

(1)現状と課題

- 会津・南会津地域は、その面積の大部分が豪雪地帯及び特別豪雪地帯であり、人口減少、少子高齢化が特に進んでいる地域であります。
- 医療従事者の高齢化も進んでおり、特に診療所医師の高齢化は、地域医療の継続において大きな課題となっています。
- また、高齢者一人世帯の増加やいわゆる老々介護の問題など、家族介護力の低下も加わり、在宅医療の提供や医療と生活の場の確保など課題は山積しています。
- こうした中で、令和2（2020）年度から「奥会津在宅医療センター<sup>81</sup>」が、奥会津4町村（柳津町、三島町、金山町、昭和村）において、訪問診療や訪問看護等の提供を行っており、介護等も含めた地域包括ケアシステムの構築にも関わっています。
- 南会津地域においても課題は共通であり、県立南会津病院を核として、南会津4町村と連携した医療の確保や地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題となっています。

図表 12-4-4 「奥会津在宅医療センター」訪問診療等実績

年度	訪問診療	（往診）	訪問看護
R2	25人、127件	（8人、50件）	11人、110件
R3	79人、907件	（12人、132件）	36人、1,506件
R4	95人、1,290件	（6人、115件）	48人、2,093件

※ 人数は実患者数(3月末時点)  
資料：福島県立宮下病院資料より

図表 12-4-5 入院受療率・外来受療率

地域	入院受療率	外来受療率
会津	104%	94%
南会津	103%	90%

※ 県全体(国保)を100%とした割合

<sup>81</sup> 奥会津在宅医療センター：宮下病院診療圏4町村で在宅医療を提供するために、会津医療センターが宮下病院へ派遣した医師、看護師等から構成される在宅医療を主業務とする訪問医療チームのこと。

資料：福島県国民健康保険団体連合会まとめ（令和4年度統計資料より）

(2)目標

住み慣れた地域での生活や移動手段が確保されており、医療や介護サービスを受けることができる地域を目指します。

【数値目標】

会津・南会津地域の入院受療率・外来受療率については、高齢化の影響も考えられるため、身近な医療提供体制等に関して、今後の診療所などの医療機関配置の変化や他地域との比較もしながら地域の実情を把握していくためのモニタリング指標とします。

(3)具体的な取組

- 会津・南会津地域における在宅医療の検討や医療・介護連携の推進等を図るため、引き続き「会津地域在宅医療推進協議会」、「南会津地域在宅医療・地域包括ケア構築推進協議会」を開催していきます。
- 「奥会津在宅医療センター」の取組を支援し、奥会津における在宅医療、地域包括ケアシステムの充実を図ります。
- 南会津地域で唯一の病院である南会津病院の機能の充実を図るとともに、地域において医療の提供を効率よく行えるよう生活の場の確保や移動手段の確保について町村等を支援し連携して取り組みます。